

- 実態のニーズに即さず長大路線となっていた循環路線を廃止することで効率化
- 利用者の動向に合わせて、周辺部への放射状路線を細分化
- 隣接市内路線との連携強化により相互の行き来をしやすい環境整備をすることで、利便性を向上

【主な事業内容】

◆東西にまたがる長大路線を見直し、上尾駅を中心に住民のニーズにあわせてバス路線を再構築

コミュニティバスについて、民間事業者の路線バスとの役割分担を図りつつ、

- ・距離及び運行時間が長大な東西循環線を廃止
- ・上尾駅を中心にコンパクトな路線に再構築

→利用者にとって分かりやすく、かつ効率的な運行を実現

◆交通結節点を考慮したルート再構築により、広域な移動についての利便性を確保

【大石循環線A】及び【上平循環線A】を桶川駅へ延伸

→乗継利便の向上により、広域移動の利便性を向上

